

工場	五・七八二八、八
學校	一・一八一七〇、八
公共建物	六・三六三五
教會	四・三四五三、四
病院	七・四二五五、六
車庫、銀行、倉庫、俱樂部等	一九・四〇五一、六
雜建築	三九・四四〇〇
△共通使用目的の爲めの重複分	△二〇・〇〇〇〇
建築費計	一一〇・〇〇三、八
總計	二三二・三八三八、〇

(Eng. Counr. 30-1)

笑ふべき失業の救濟

財政緊縮を政策の最大綱目とした現内閣にも、最初から豫想してゐなかつた失業者の群を何とか措置せねばならぬやうに爲つてきた、財政緊縮の裏には必ず失業不景氣の世態が現はれて来る、蠶糸の低落もその一つだ、之も救へ、失業者も救へ、小學校教員も救へ、と四方八方之れ救濟を要するものばかり、救濟を呼び起す原因を今更矯正しやうと思つたつて、急に經濟組織を變更する譯にも行かす、夫れとて救濟に力めてゐれば財政緊縮は行はれず、茲も現政府は苦惱の態、政治は經濟なりと誰か言つたことに心附かなかつた勢だと言つた所で今更仕方がない、失業者だけは何とか始末をせなければならぬ、そこで千五六百萬圓を支出して救濟すると言ふ。

國家の事業費を夫れだけ増加して置けば、事業は系統的に進行して今更救濟々々と慌てる必要もなかつた、折角金を支出しても事業は其の本位を離れて失業救濟的に施設され事業の効果を經濟的に擧げることが出来ない、救濟されてゐる失業者の言葉を聴くが良い、吾々には仕事をするのでない政府は吾々を養つて呉れるのだ、と、此の考の持主をいくら事業に使用しても效果の擧らないのは當然、最初から事業費を増加して置くのと、幾何の差がある、少しは考へ直して貰ひたい。(路政僱)